

## 第1学年3組学習指導案

### 1 単元名 的あて遊び

### 2 運動の特性

的あて遊びは、ボールを投げたり、転がしたりするなどの簡単なボール操作をしながら、いろいろな的に当てたり、入れたりすることが楽しい運動である。

### 3 児童の実態

#### (1) 知識・技能の状況について

実態調査から本学級の児童は、ボールを遠くに投げようとしてボールが横に抜けてしまったり、両足を横に揃えて投げてしまったりとボールを投げる際の身体の使い方ができていない児童が多く見られた。また、ねらった的にボールを当てる調査から、2 m先の的にはほとんどの児童が当てられるものの、4 m先の的に当てられた児童は5人しかいなかったことから1年生の段階でも技能差があることが分かった。普段ボールを投げる経験が少ないことから、ボールの投げ方についてまだよく分かっていない様子だった。

#### (2) 思考・判断・表現の状況について

「友達のよいところをまねすることができますか。」の質問には、約84%の児童が「よくしている」または「たまにしている」と答えている。一方で「あまりしていない」「していない」と答えた児童が約16%いることが分かった。これまでの体育学習では、固定遊具を使った遊びを行った際、登り棒を上手に登れる児童を教師が紹介したことで上まで登れるようになった児童が増えた。水遊びでは友達が行った動物の動きや良い動きのまねをする姿が見られた。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度の状況について

本学級の児童は、体育の学習が好きな児童が多い。その理由としては、「色々な種類の運動ができるから」「体を動かすことが好きだから」と答えている。また、「ボールを使って遊ぶことは好きですか」の問いに対しては、ほとんどの児童が「大好き・好き」と答えている。学級の全員がボールを使って遊んだ経験はあるものの、休み時間の主な遊びの内容としては、固定遊具や鬼ごっこなどで過ごす児童が多く、遊びの広がりはあまり見られない。ボール遊びで心配なことが「ある」と答えた児童は約18%で、主な理由は、「怪我をしてしまう」「ボールが当たると痛い」が挙げられた。「きまりや順番を守って学習できますか」や「友達と仲よく学習できますか」という問いに対して、ほとんどの児童が「できる」と答えている。数名の児童が「できない」と答えているが、普段の学習ではルールやマナーを守れているので、「できないかもしれない」という児童の不安を拭えるように、励ましの声をかけていきたい。また、「困っている友達がいたらどうしますか」という問いに対しては、「教えてあげる」と答える児童が約78%いるものの、自分ではまだ解決できず「先生に言う」「何もしない」と答えた児童が約22%いることが分かった。

#### 4 研究主題と学習の手立て

##### (1) 市教研体育研究部会の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

##### (2) 視点と学習の手立て

###### 視点1 課題を見付け解決できる学習過程の工夫と指導内容の明確化

〈手立て〉

###### ○学習の道すじ

本学級の児童は、体育学習が好きな児童が多いものの、「運動をすると疲れるから」「体を動かすのがつまらないから」嫌い・とても嫌いと答えている児童が数名いる。また、休み時間の遊びでも個人の遊びが多く、日常でボールを使う経験がないことからボールを投げたり、転がしたりする楽しさを感じている児童は少なく運動の特性について十分触れられているとはいえない状況である。

そこで本単元では、的に向かってボールを投げたり、転がしたりするあて遊びの特性を十分に味わわせるようにしたい。そのために、個人での活動に重点を置いていく。

単元前半では、6つある場を自由に回りながら、ねらって投げたり、強く投げたり、転がしたりする動きを十分楽しませ、それぞれの場の遊び方については、児童の自由な発想で遊びを広げていく。その際に、それぞれの場で考えた遊びを絵にかかせ、掲示物にまとめることで遊びを広げたり、友達の遊びをまねしたりして楽しめるようにしていきたい。

単元後半では、夢中になって的あて遊びを行う中で、友達と競争したり、協力したりして、友達と関わりながら、よりのあて遊びの楽しさに触れられるようにしていきたい。友達と関わり合いながら活動している児童を教師が意図的に紹介することで友達と関わって遊ぶことへの興味・関心をもったり、遊びの幅を広げたりすることができるだろう。

###### 視点2 運動の楽しさや喜びを膨らませる関わり合いの工夫

〈手立て〉

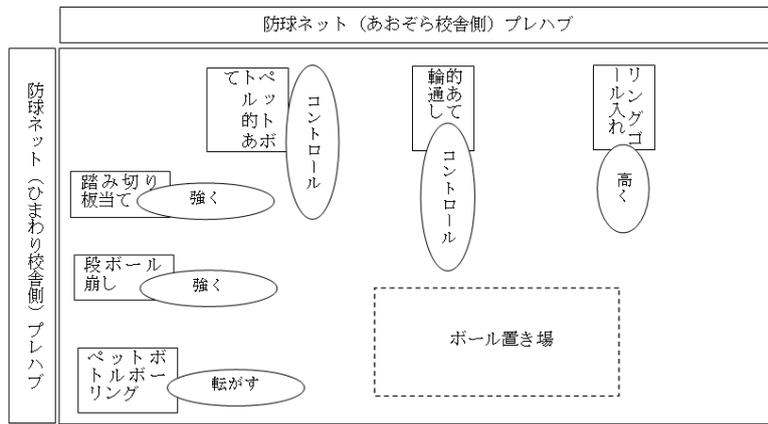
###### ○場や用具の工夫

###### ①場の工夫

本学級の児童は、実態調査から両足を揃えて投げたり、思うようにボールに力を伝えることができなかつたりする児童が見られた。ボールを使った遊びの経験はあるものの、日常的にボールに触れる機会が少ないことが原因だろうと考えられる。

そこで本単元では、いろいろな動きを経験させることで、投げる楽しさを味わわせるとともに様々な投げ方を経験できるようにしていきたい。そのために意図的な場を用意し、「高く投げる」「強く投げる」「ねらって投げる」といった動きを引き出せるようにする。それぞれの場で夢中になって遊ぶことで強いボールの投げ方や、ねらった的へコントロールして投げる方法などを楽しみながら身に付けられるようにしたい。なお、オリエンテーションで児童が全ての場を経験することから、場の名前は学級で決めるようにする。

また、単元が進むにつれて、児童の欲求や遊びの広がり方から、場が淘汰されていくことが考えられる。児童の学習状況に応じて、臨機応変に場を作り替えたり、用具を増やしたりしていきたい。



※ 活動の場の名前は仮称

No.	遊びの場	行い方
強く投げる	① 踏み切り板あての場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏み切り板に向かってボールを強く投げ、跳ね返ってきたボールをキャッチする。</li> </ul>
	② 段ボール崩しの場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に合った距離からボールを投げて、積まれた段ボール崩すように投げる。</li> </ul>
ねらって投げる	③ ペットボトル的あての場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均台に並べられた重さが異なるペットボトルを狙い、ボールを投げる。</li> </ul>
	④ 的あて・輪通しの場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラフープやおぼん等をミニサッカーゴールに吊るし、ねらって投げる。</li> </ul>
高く投げる	⑤ リングゴール入れの場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>リングゴールを使い、高くふわっとしたボールを投げ上げて入れる。</li> </ul>
強く転がす	⑥ ペットボトルボーリングの場 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボーリングのように、勢いよくボールを転がして投げる。</li> </ul>

## ②ボールの工夫

全ての児童が安心して取り組めるように、大きさや柔らかさの異なるボールを6種類用意する。様々な場で夢中になって遊ぶ中でねらったところに投げたり、力強く転がしたりと様々な投げ方を体験させていきたい。また、6種類のボールに触れさせることで、それぞれのボールのもつよさや特徴を知り、場に合ったボールを選択し遊びを広げることができるようにしていきたい。

①	②	③
お手玉	ティーボール	ハンドボール
		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎりやすい</li> <li>・小さくて軽い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎりやすい</li> <li>・軽い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ちやすい</li> <li>・勢いが出やすい</li> </ul>
④	⑤	⑥
ドッジボール	ライトサッカーボール	スマイルバスケットボール
		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し固い</li> <li>・勢いが出やすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やわらかい</li> <li>・少し重さがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きくて軽い</li> <li>・的に当たりやすい</li> </ul>

## 5 単元の目標

(1) ねらったところにボールを投げたり、力強く投げたり、転がしたりできるようにする。

(知識及び技能)

(2) 友達のよい動きを見つけて、遊び方の工夫について考えたことを友達に伝えたりすることができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 的あて遊びに進んで取り組んだり、安全に気を付けて活動したり、友達と仲良く運動をしようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

## 6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①的あて遊びの行い方について言ったり、書いたりしている。	①自分の活動の場を選び、めあてをもって運動に取り組んでいる。	①的あて遊びに進んで取り組もうとしている。
②ねらったところにボールを投げたり、力強く投げたり、転がしたりできる。	②遊びの工夫について考えたことを友達に伝えている。	②きまりを守り、友達と仲良く運動をしようとしている。
		③場や用具の使い方などの安全に気を付けたり、友達と協力をして準備や片付けをしようとしている。

7 指導と評価の計画

	1	2	3	4	5 (本時)	6
学習のねらい	学習の進め方を知り、見通しをもつ。	学習の流れを知り、的あて遊びを楽しむ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <span>個人での遊びを楽しむ</span> <span>友達との遊びを楽しむ</span> </div>				
0 ↓ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・学習カードの書き方</li> <li>・約束について</li> <li>・場の体験</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     いろいろな ばしょで まとあてあそびを たのしもう                 </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ふりかえりタイム				
知・技			② (観察)	① (観察・カード)		② (観察)
思・判・表		① (観察)		① (観察)	② (観察・カード)	
態度	③ (観察・カード)		② (観察・カード)		① (観察・カード)	
						まとめ

8 学習活動と教師の支援

はじめ	<p><b>【オリエンテーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の仕方や進め方を知り、見通しがもてるようにする。</li> <li>○活動の場の準備や片付けの仕方について知る。</li> <li>○活動する際の約束や安全面について知る。</li> <li>○学習カードの書き方を知る。</li> <li>○簡単なボール操作でつながる運動を行う。</li> <li>○全ての場で遊びを行う。</li> <li>◇場や用具の使い方などの安全に気を付けたり、友達と協力をして準備や片付けをしようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【態度③】</b></p>	
	学習内容と活動	教師の支援 (○)・評価 (◇)
1	活動の場をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">防球ネット (あおぞら校舎側) プレハブ</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力をしながら安全に準備を行うように声をかける。</li> <li>○活動の場の安全について確認する。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニサッカーゴールに吊るしている用具はしっかりと固定されているか。</li> <li>・ミニサッカーゴールに重しが乗せてあるか。</li> <li>・踏み切り板が倒れないように設置されているか。</li> </ul> </li> </ul>
2	準備運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○肩や腰など活動で動かす部分を重点的に行うように体操をする。</li> </ul>

3 学習のめあてを確認する。

いろいろな ばしよで まとあてあそびを たのしもう

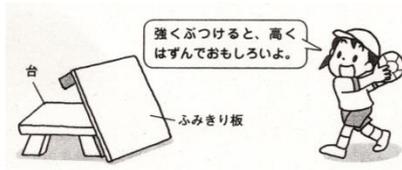
- (やくそく)
- ・ ともだちに ボールを なげない
  - ・ なげるとき と なげおわったとき は あいずをする
  - ・ つかったボールは かたづける

〈予想されるめあての例〉

- ・ 強いボールを投げて、段ボールをくずしたい。
- ・ 高くふわっとしたボールを投げて、リングボールに入りたい。

4 いろいろな場所でのあて遊びをする。

〈No.1 踏み切り板あての場〉



○考えられる遊びの例

- ・ 跳ね返ってきたボールをキャッチ
- ・ どちらが高くボールを跳ね返せるか

〈No.2 段ボール崩しの場〉



○考えられる遊びの例

- ・ 何個倒せるか
- ・ どちらが多く倒せるか

〈No.3 ペットボトルあての場〉



○考えられる遊びの例

- ・ ねらった的にあてることができるか
- ・ 1番重たいペットボトルを倒せるか

〈单元前半〉

○学習をする際の「やくそく」を毎時間の学習の始めに確認する。

○めあてをもつことが難しい児童には、発表をした児童の発言を参考にさせたり、担任と一緒に考えたり、自分のめあてがもてるように支援をする。

○上手に投げられていたり、遊んだりしている友達のまねをするように促す。

○怪我をしないように、順番を守り、並んで待っている児童を称賛し、全体に広げられるようにする。

○友達が的を直している時に、ボールを投げようとしている児童には、危ないので投げないように伝える。

○場を見ながら、用具がずれているときには直していくように伝える。

○上手的に当たらなかったり、強いボールが投げられなかったりする児童には、よく的を見て投げるように声かけをする。

○いろいろな場で遊んでいる児童を称賛し、全体に広げられるようにする。

○場と投げ方が合っていない児童がいた場合は、周りの上手に遊んでいる友達の姿を紹介したり、教師が見本を見せたりする。

◇的あて遊びに進んで取り組もうとしている。 【態度①】

◇きまりを守り、友達と仲良く運動をしようとしている。 【態度②】

◇自分の活動の場を選び、めあてをもって運動に取り組んでいる。 【思・判・表①】

な  
か

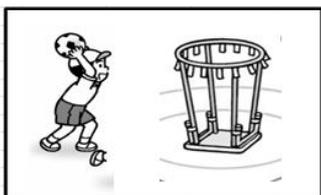
〈No.4 的あて・輪通しの場〉



○考えられる遊びの例

- ・何個入れられるか (あてられるか)
- ・どちらが多く入れられるか

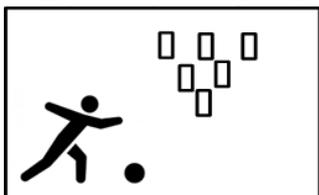
〈No.5 リングゴール入れ〉



○考えられる遊びの例

- ・どれだけ高いゴールに入れられるか
- ・どちらが多く入れられるか

〈No.6 ペットボトルボーリングの場〉



○考えられる遊びの例

- ・何本倒せるか
- ・何球で全部倒せるか

5 「ふりかえりタイム」を行う

- 今日楽しかった場を一つ選び、紹介をする。

6 学習のふりかえりをする。

- 学習カードに振り返りを記入する。

ま 7 学習のまとめをする

- ねらった的にボールを投げたり、力強く投げたりすることができたか。

め ◇ねらったところにボールを投げたり、力強く投げたり、転がしたりできる。 【知・技②】

◇ねらったところにボールを投げたり、力強く投げたり、転がしたりできる。

【知・技②】

○上手に遊ぶことができている児童を紹介し、クラスで共有する。

◇遊びの工夫について考えたことを友達に伝えている。 【思・判・表②】

○工夫して遊んでいる児童がいたら、学習の最後に全体に紹介し、遊びの共有を図る。  
(単元後半)

○友達と競争したり、協力したり工夫して遊べている児童を全体へ紹介し、友達と関わり合いながら遊ぶことの楽しさについて紹介する。

○友達の考えた遊びをやってみたり、投げ方をまねしてみたりするよう声をかけ、投げることの面白さや投げ方の違いに気付かせ、遊び方や投げ方を工夫しようという意欲を高める。

○友達と関わり合いながら活動を広げて楽しんでいる児童を称賛する。

◇ねらったところにボールを投げたり、力強く投げたり、転がしたりできる。

【知・技②】

◇遊びの工夫について考えたことを友達に伝えている。 【思・判・表②】

◇的あて遊びに進んで取り組もうとしている。 【態度①】

○楽しかった場や考えた遊びを発表し、クラスで共有する。

◇的あて遊びの行い方について言ったり、書いたりしている。 【知・技①】

○次時も意欲的に活動できるように、本時の学習を称賛する。